

の5項目について実験した。

2. 試料として、テピロン不織布に Al を真空蒸着したものを用いた。

イ) 圧縮弾性は前田式圧縮弾性試験機を使って測定した。

ロ) 引張強度は新興通信KK製ストレンゲージ引張試験機にて測定した。

ハ) 柔軟度は45°カンチレバーを使って測定した。

ニ) 保温性は熱貫流係数による保温性評価法を用いて測定した。

ホ) 難燃性処理実験は乾燥機を100°Cにして1時間入れておく方法と、30% H₂O₂ に浸しておく方法の二つを試みた。

3. 以上の実験より結果をみても Al 付着不織布は未付着のものより圧縮弾性は低下し、引張強度は増している。又、柔軟度は極端には悪くなっていないようだが、Al 付着量を考える必要がある。保温性をみると、Al 付着布の方が基布より金属化することによって熱伝導が良くなる結果、保温性は悪くなるようである。難燃性処理実験はどちらの方法も効果があった。以上の結果をみても金属化することによる効果は補強という点によくあらわれているので、この方面の用途を考えたい。

B-54 金属化不織布の物性

精華女短大 磯部 誠介
○青沼 純子

1. 不織布の補強あるいは美観を与えうる予想のもとに、不織布に Al の真空蒸着を試み、その物性を知るために圧縮弾性、引張強度、柔軟度、保温性、難燃性処理